

# 広告・ソーシャルメディアへのひろがり

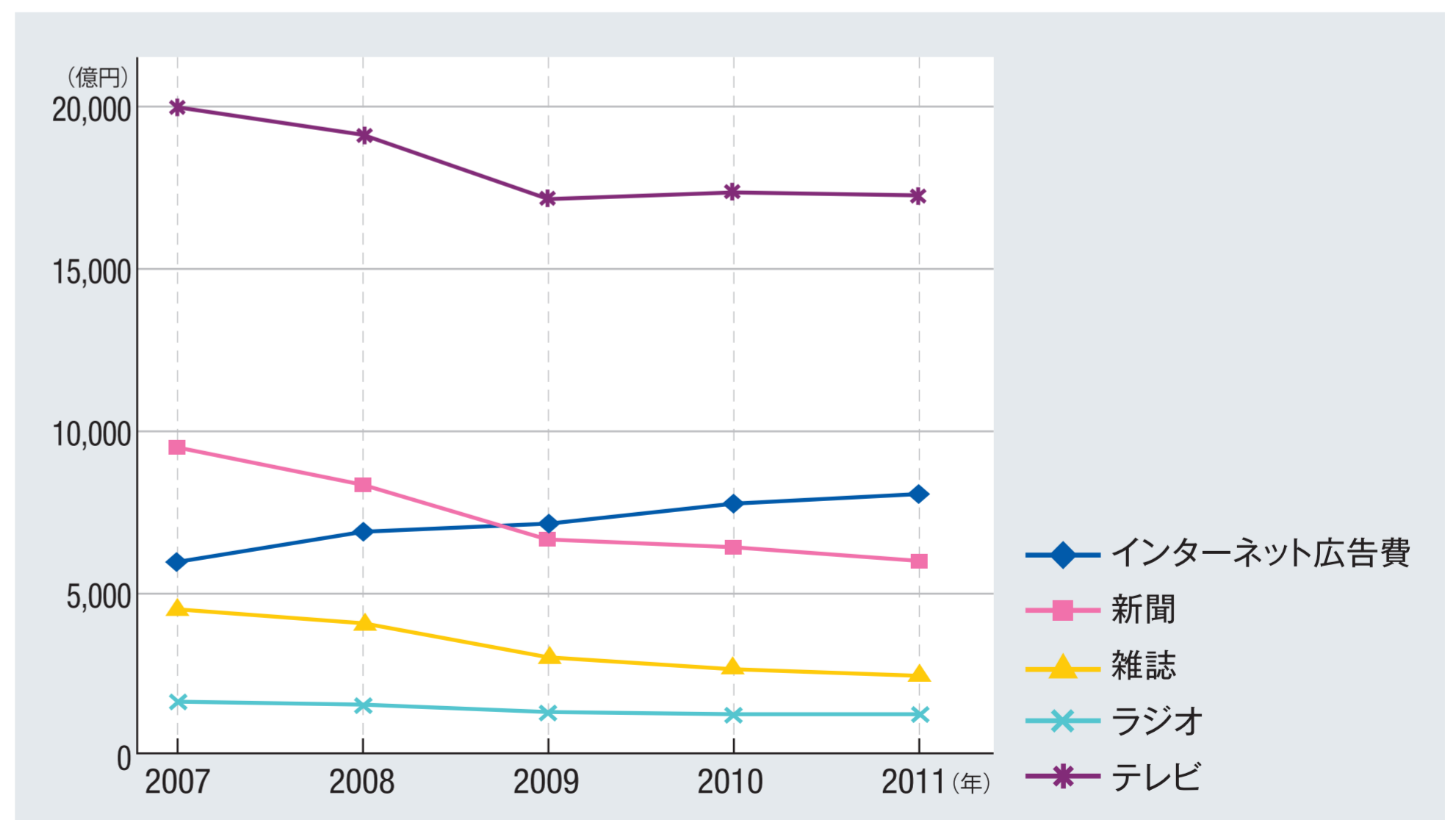
## Internet advertisements and social media

インターネットを通じたコミュニケーションが容易になり、オークションサービスなどのほか、広告メディア、ソーシャルメディアが新しいメディアとして普及

インターネットの普及は、社会や経済にも大きな影響を与えました。1995年ごろから、検索・ポータルサービスのほか、オンラインショッピングサイトが注目を浴び、インターネット経由で商品購入が容易にできるようになりました。個人間での商品販売ができるオークションサービスも広く使われるようになりました。

またインターネットでのサービスは広告メディアとしても注目されました。ウェブサイトや電子メール配信に広告を掲載したり、検索結果の表示に合わせて広告を掲載するようになりました。その結果、インターネット向けの広告市場は急速に伸び、日本では2009年にテレビに次ぐ市場規模になりました。

さらに、インターネットによって、個人のコミュニケーションの形態も大きく変わりました。個人が自らさまざまな情報を発信するブログサービスや、友達同士で気軽に会話をするソーシャルネットワークサービス(SNS)が普及し、世界中の人々と容易にコミュニケーションをとれるようになりました。



日本の主な媒体での広告費の推移(2007~2011年)  
(電通ニュースリリース 2012年2月23日の情報を元に作成)